

2019年 3月23日[土]～5月12日[日]

毎週月曜日休館(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)  
ただし4月30日は祝日法により開館

## ブラティスラヴァ世界絵本原画展 BIB で出会う絵本のいま

◆ スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される、世界最大規模の絵本原画コンクール Biennial of Illustrations Bratislava (略称 BIB) の受賞作と日本からのノミネート作品を中心に展示し、絵本原画の魅力を紹介します。

5月13日～17日 展示替休館

2019年 5月18日[土]～7月7日[日]

毎週月曜日休館

## おかえりなさい国立公園絵画展

◆ 2018年に全国4会場を巡回した当館の国立公園絵画コレクション。本展では、巡回時における研究の成果を踏まえ、国立公園絵画の新たな魅力を紹介。鹿子木孟郎、中沢弘光、藤島武二、和田英作らの油彩画40点を出品予定。

7月8日～12日 展示替休館

2019年 7月13日[土]～9月8日[日]

毎週月曜日休館(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

## 平木コレクション 木版画で旅するにっぽんの風景 —吉田博と川瀬巴水を中心に—

◆ 浮世絵の伝統を活かしつつ、そこに現代的エッセンスを加えた吉田博<sup>よしだひろし</sup>(1876-1950)と川瀬巴水<sup>かわせはすい</sup>(1883-1957)の新版画を中心に、同時期の創作版画も加え、「にっぽんの風景」という視点から、大正・昭和前期におきた木版画の新たな動きを紹介。大正・昭和前期におきた木版画の新たな動きを紹介。

9月9日～13日 展示替休館

2019年 9月14日[土]～11月4日[月・振休]

毎週月曜日休館(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

## 日光生まれの仙人画家 小杉放菴 —反俗・脱俗・超俗！

◆ 美術界の中心で活躍するも、戦後は妙高高原で「仙人」と評される生活を送った小杉放菴は、書や和歌においても優れた才能を発揮しました。本展では、絵画・書・和歌を一堂に会し、仙人画家・小杉放菴の全貌に迫ります。

11月5日～8日 展示替休館

2019年 11月9日[土]～12月22日[日]

毎週月曜日休館

## 生誕150年 吉澤儀造とその時代

◆ 吉澤儀造<sup>よしざわぎさく</sup>(1869-1903)は明治期の画塾不同舎で活躍し、34歳で夭折した画家です。しかし、その確かなデッサン力と刺激的な色彩が織りなす作品は今なお見る者を魅了してやみません。当館の所蔵作品を中心に周辺画家の作品も交え、その全貌に迫ります。

12月23日～31日 展示替休館

2020年 1月1日[水・祝]～2月16日[日]

毎週月曜日休館(祝日のときは開館し、その翌日を休館)  
年始休館 1月6日[月]～8日[水]

## 世界遺産登録20周年記念

## Born from NIKKO！—自然といのりから生まれた名品たち

◆ 豊かな自然と、古くから信仰を集めた二社一寺を擁する日光は、小杉放菴をはじめ、現代に至るまで多くの芸術家と名品を生み出しました。これらの名品を育んだ背景である「自然」と「いのり」という2つの視点を軸に、改めて日光の美術を見つめ直します。

2月17日～21日 展示替休館

2020年 2月22日[土]～4月5日[日]

毎週月曜日休館(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

## 生誕100年 斎藤博之 絵本のしごと

◆ 洋画家、水墨画家として知られる斎藤博之<sup>さいとうひろゆき</sup>(1919-1987)。彼にはもう一つ、絵本作家としての顔がありました。本展では、その生誕100年を記念し、当館のコレクションのなかから、絵本作家としての画業を中心に紹介します。